

わたしたちの生活と森林

A

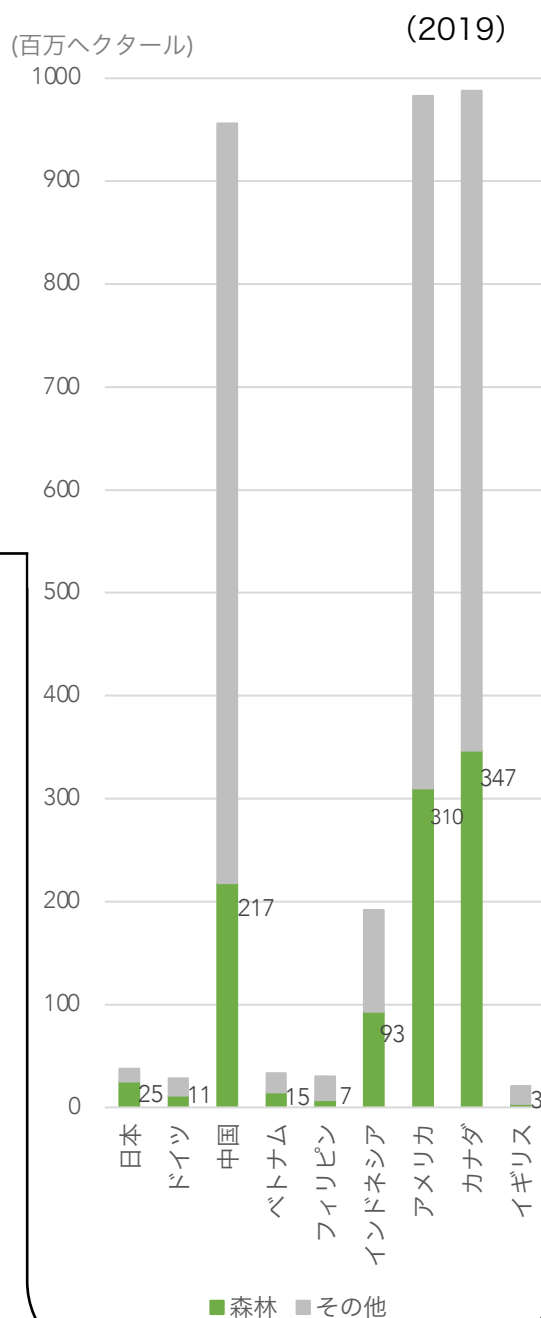
日本の森林って大きいの？

ひろみさんは社会科で、日本は森林にめぐまれていて、森林率の高さは世界第2位であると学習しました。ひろみさんは、各国の森林率を調べているときに、2つのデータを見つけました。

データ1 国別の森林とその他の国土の割合 データ2 国別の森林とその他の国土の面積

国名	森林 (%)	その他の国土 (%)	合計 (%)
日本	66	A	100
ドイツ	39	61	100
中国	B	77	100
ベトナム	44	56	100
フィリピン	23	77	100
インドネシア	C	52	100
アメリカ	33	67	100
カナダ	35	65	100
イギリス	15	D	100

(国連FAOSTAT)



- データ1のいくつかの割合がぬけていました。表のA、B、C、Dを百分率で表しましょう。
- 森林率が日本の半分の国はどこですか。
- データ2を使って、問題2で答えた国と日本の森林の面積の大きさを比べたいと思います。
 - 問題2で答えた国の森林の面積は、日本の面積の半分ですか。
 - 森林率が半分なのに、どうして森林の面積が半分ではないのかを説明しましょう。
- 日本の森林についてよりふさわしいのはどちらだと思いますか。
 - 日本は森林率も森林の面積も世界第2位だ
 - 日本は森林率は世界第2位と高いが、森林の面積は世界の中で大きいわけではない

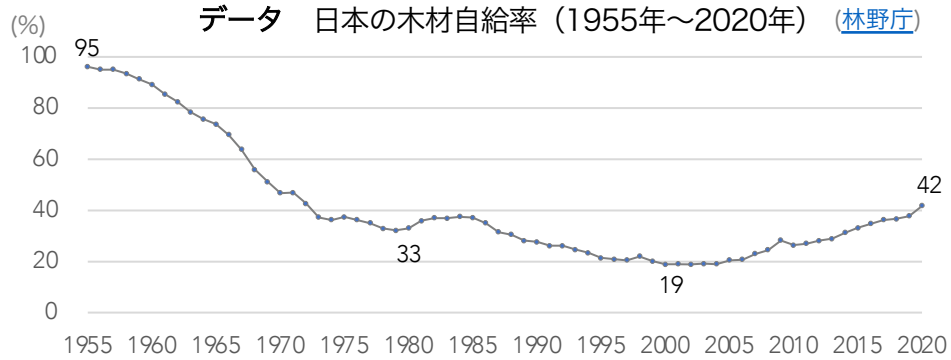


ほりさげて

かんがえてみよう

B 日本は森林が多いから国産の木材も豊富なの？

日本の国土において森林の割合は66%で、フィンランドについて世界第2位です。日本には森林が多いため、木材となる木も豊富です。しかし、日本で使用する木材の全てが国産というわけではありません。下のデータは、日本で使われる木材の中での国産の割合をしめす「木材自給率」の移り変わりを表しています。



このデータから1950年代は、100%に近い木材を⁽¹⁾国内で生産・輸入していたことがわかります。それ以後、木材自給率は⁽²⁾増えて・減っていき、2000年ごろには、1955年の⁽³⁾ $\frac{1}{4} \cdot \frac{1}{5}$ の割合になります。木材自給率は、2020年までには⁽⁴⁾42・95%まで回復しましたが、まだ約⁽⁵⁾5割・6割の木材は輸入にたよっています。木材の輸入が増えたのは、海外からの価格の⁽⁶⁾安い・高い木材の人気上がり、価格の高い国産の木材の人气が下がってしまったことにあります。

国産の木材が売れなくなることで、日本の⁽⁷⁾農業・林業が縮小してしまう問題が起きています。人の手を入れないと森林はすぐに⁽⁸⁾あれて・成長して) しまいます。木の育成をよくするために、まわりの木を切って⁽⁹⁾植林・間ばつしたり、成熟した木をばっさいして有効的に⁽¹⁰⁾木材・生き物のすみか)として利用して、森林を守っていくことが大切です。

?

森林があれてしまうとどうして問題なのでしょう。

こ

1. A 34 B 23 C 48 D 85
2. アメリカ

た

3. A 半分ではない B 「もとにする量」は国土の面積であり、2つのもとにする量が等しくないため、割合が半分でも森林の面積は半分にならない
4. B

え

かんがえてみよう

- 1 国内で生産
- 2 減って
- 3 $\frac{1}{5}$
- 4 42
- 5 6割
- 6 安い
- 7 林業
- 8 あれて
- 9 間ばつ
- 10 木材